

別記様式第3（第3条関係）

※すべて西暦で記入のこと

履 歴 書

〇〇〇〇年〇〇月〇〇日現在

(ふりがな) つくば はなこ  
 氏 名: 筑波 花子 性別: 女  
 生 年 月 日: 〇〇〇〇年〇〇月〇〇日生 (〇〇歳)

現 住 所: 茨城県つくば市〇〇1-2-3  
 連 絡 先 (メールアドレス等):

学歴 (大学以上):

〇〇〇〇年4月	〇〇大学〇〇学部〇〇学科	入学
〇〇〇〇年3月	同 上	卒業
〇〇〇〇年4月	〇〇大学〇〇学部研究生	入学
〇〇〇〇年3月	同 上	終了
〇〇〇〇年4月	〇〇大学大学院〇〇研究科修士課程〇〇専攻	入学
〇〇〇〇年3月	同 上	修了
〇〇〇〇年4月	〇〇大学大学院〇〇研究科博士課程〇〇専攻	入学
〇〇〇〇年3月	同 上	単位取得退学

〇〇〇〇年〇月 中学校教諭一種免許状 (〇〇) (〇〇県 〇〇第〇〇号)  
 〇〇〇〇年〇月 〇〇〇〇士 (第〇〇号)

学 位: 〇〇〇〇年〇月 博士 (〇〇学) (〇〇大学)  
 Ph. D. (〇〇) (〇〇国〇〇大学)

職 歴:

〇〇〇〇年〇月～〇〇〇〇年〇月 〇〇大学〇〇学部 非常勤講師  
**※ 学歴・職歴を通じて空白となる期間がある場合には、非常勤の職歴を記載する。**  
 〇〇〇〇年〇月～〇〇〇〇年〇月 (財) 〇〇研究所〇〇研究部 〇〇研究員  
 〇〇〇〇年〇月～〇〇〇〇年〇月 〇〇大学〇〇学部 助教  
 〇〇〇〇年〇月～現在 国立大学法人〇〇大学〇〇学部 准教授

※ 本学在職の場合(例)

- ・ 法人化前は「筑波大学助教授〇〇学系」、法人化後(2004年4月から)は「国立大学法人筑波大学大学院〇〇研究科助教授」と記載する。
- ・ 2007年4月からは職名が変更したため「助教授」は「准教授」と記載する。
- ・ 2011年10月からは「研究科」から「系」に所属変更となったため、分けて記載する。

学会活動等:

〇〇〇〇年〇月 ~ 現在	日本〇〇学会会員
〇〇〇〇年〇月～〇〇〇〇年〇月	〇〇学会評議員
〇〇〇〇年〇月	〇〇学会〇〇賞受賞
〇〇〇〇年〇月～〇〇〇〇年〇月	〇〇省〇〇委員会〇〇委員

上記のとおり相違ありません。

〇 〇 〇 〇

(自 筆 署 名)

※すべて西暦で記入のこと

## 研究業績目録

氏名（自筆署名） ○ ○ ○ ○

○○○○年○○月○○日現在

### 著書

- 1 筑波花子：『○○○の研究』，○○出版，○○頁，2014年。
- 2 筑波花子，茨城太郎：『○○に関する研究』，○○出版，改定第○版，○○頁，2013年。
- 3 筑波花子：「第○章 ○○○」（○○編『○○○の研究』，○○出版），101～110頁，2012年。

### 記載事項

全著者名，著書名，発行所，頁，発表年

全著者名，担当した章，書籍の編者・名称，発行所，頁，発表年

### 査読付学術雑誌論文

- 1 筑波花子：「○○に関する考察」○○○学会雑誌第○巻第○号，○○～○○頁，【印刷中】。
- 2 Tsukuba H., Ibaraki T., Japan and China, 1900-1910, *Journal of Asian Studies*, Vol. 2, No. 4, pp. 30-41, 2013.

### 記載内容

全著者名，論文名，雑誌名，巻，号(省略可)，頁，発表年

### 査読無学術雑誌論文

- 1 茨城太郎，筑波花子：「○○について」○○大学教育学部○○紀要第○○集，○○～○○頁，2013年。

### 記載内容

全著者名，論文名，雑誌名，巻，号(省略可)，頁，発表年

発行元については，強調したい場合に記載すること。

### 査読付国際会議論文

- 1 Tsukuba H., On the Disclosure of Diplomatic Records, *Proceedings of 17<sup>th</sup> International Congress of East Asian History*, Macao, April 2012, 14 pages.

その他※ 著書○件 査読付学術雑誌論文○件 査読無学術雑誌論文○件  
査読付国際会議論文○件 ほか○件

- ※研究業績とみなされないものについては含めないこと。
- ※上記5件の業績を「除いた」業績の件数を記載すること。
- ※0件の場合は，項目自体を記載しないこと。

記入例  
【研究業績に重点を置いた評価】

※すべて西暦で記入のこと

教育・実技・実務等業績目録

氏名（自筆署名）\_\_\_\_\_

〇〇〇〇年〇〇月〇〇日現在

※ 最近3年間の実績のうち主要なものを記載する(継続した任期のものは、任期の最後が最近3年間であれば記載できる)

※ 項目ごとに最近のものから順に記載すること

( 実 績 )

( 期 間 等 )

著作（学術雑誌論文・著書以外）

※「研究業績目録」の記入例に従い、記載すること

1 〇〇〇〇・・・・・・・・

2 〇〇〇〇・・・・・・・・

教育実践実績

〔授業担当等〕 ※在職機関における教育関係の活動(非常勤講師等)を記載すること

〇〇大学〇〇学部〇〇学科(学群、学類)において

〇〇学概論 2単位 〇〇〇〇年4月～現在

〇〇指導法 ティーチングアシスタント 〇〇〇〇年4月～〇〇〇〇年3月

〔委員会委員等〕

〇〇大学〇〇委員会委員 〇〇〇〇年4月～現在

〇〇大学〇〇室室員 〇〇〇〇年4月～〇〇〇〇年3月

〔その他〕 ※在職機関以外における教育関係の活動(非常勤講師等)を記載すること

〇〇大学〇〇学部非常勤講師 〇〇〇〇年4月～現在

(「〇〇学概論」〇単位)

社会的実績

〇〇県教育委員会〇〇専門委員会委員 〇〇〇〇年4月～現在

〇〇県地方〇〇審議会委員 〇〇〇〇年4月～〇〇〇〇年3月

※ 上記以前の社会的実績等の業績で特筆すべきものについては、履歴書の「学会活動等」の欄に記載の他、以下に、上記の例に沿って項目別に記載すること

【参 考】

〇〇実績

〇〇〇〇委員

〇〇〇〇年4月～〇〇〇〇年3月

※すべて西暦で記入のこと

教育・研究の計画及び抱負

氏名（自筆署名）\_\_\_\_\_

〇〇〇〇年〇〇月〇〇日現在

1. 教育について

2. 研究について

3. 〇〇センターにおける業務について（センター勤務等がある場合のみ）

※すべて西暦で記入のこと

全 研 究 業 績 目 録

氏 名     ○ ○ ○ ○     (記名可)

○○○○年○○月○○日現在

**※ 下記の記入例に沿って作成すること。記入例と大幅に相違する場合は、「書類不備」とみなし、審査の対象とならないこともあります。**

1. 博士論文

『○○に関する研究』（○○大学○○研究科），○○頁，2000年

2. 著書

1 ○○○○・・・【印刷中】

○2 ○○○○・・・

3. 査読付学術雑誌論文

○1 ○○○○・・・

2 ○○○○・・・

4. 査読無学術雑誌論文

1 ○○○○・・・

2 ○○○○・・・

5. 査読付国際会議論文

○1 ○○○○・・・

2 ○○○○・・・

6. 査読無国際会議論文

1 ○○○○・・・

2 ○○○○・・・

7. 外部資金獲得状況

**※ 代表の場合とその他の場合で区別して記載すること。**

代表

- 1) ○○○○年度～○○○○年度 科学研究費補助金 (基盤研究 C)  
「○○に関する研究」  
299万円 (うち直接経費 230万円)

8. 参考

**※審査の上で特に参考となるもの。**

(以下の項目は例示)

[招待講演等]

1) 「〇〇について」(〇〇学会第3回年次大会基調講演), 2014年3月, 〇〇大学

2) 「〇〇の研究」(〇〇学会第24回総会招待講演), 2013年8月, 〇〇研究所

[学会発表(口頭)]

[学会発表(ポスター)]